

# グローバルPBL体験談

実施年度	2020年度
プログラム連番	174
実施形態	オンライン（SIT側一部対面参加あり）
担当教員	機械機能工学科 長澤純人先生 先進国際課程 吉久保肇子先生 マレーシアサテライトオフィス 石崎浩之先生
実施期間	2021年3月1日～3月5日
実施協定校	トゥン・フセイン・オン・マレーシア大学(マレーシア)

# 参加学生体験談

機械機能工学科	2年生	<p>本プログラムに参加した動機は「メカトロニクスについての知見を広げたい」というものが主であったが、結果的に「英語を用いて異文化の方々と議論をする」という語学面における経験を行うことができ、成長につながったと思う。また、実感としてあまりイメージがつかなかったメカトロニクスについての経験・知識を得られたという点も非常に有意義だった。今後の学科での学びへの一助となる機会であったと思う。</p> <p>芝浦工業大学は、スーパーグローバル大学認定校でもあるため、多くの国際交流プログラムが設置されている。大学在学中にそれらプログラムに参加することで、今後の専門分野における学びに加え、世界で活躍できる技術者になるために必要な経験もすることができるので、在學生はこの機会をぜひとも利用すべきであると思う。</p>
機械機能工学科	2年生	<p>今回のPBLは、プログラミングの知識が無くても十分に楽しめる内容だったと思います。英語でのコミュニケーションも、多少文法が正確でない会話であってもプロジェクトを進めることができるので、英語に自信が無くても参加して大丈夫だと思います。</p> <p>また、使用した工作キットはかなり本格的なもので、PBL後も自分で学習し応用する意欲を高めました。</p>
機械制御システム学科	2年生	<p>・本プログラムに申し込んだ理由 ロボティクスの基本を学ぶことと英語力の向上のために今回のプログラムに申し込みました。</p> <p>・本プログラムで学んだこと ①Arudinoとthinker cadの基本知識。 ②何かを作る時には目的から結果までの筋を通すことが重要であるということ。 ③時間または技術的な制約で目的を実現できないときは、目的を柔軟に変更し新たなストーリーを組み立てることが大切であるということ。</p>

# 参加学生体験談

機械制御 システム学科	2年生	<p>このプログラムではロボット作りというより、ロボット作りの基礎の基礎を学んだ感じですが、ものづくりにはコンセプトが非常に大事であることを学びました。ただ作るのではなく、なぜ作り、どういった人が使っていくのかを想像して作成することは思ったより難しかったです。</p> <p>こういう状況下だからこそ自分には何ができるのかを考えて、勇気を出して色々挑戦することが大事だと思います。なので迷っていたら、とりあえず参加してみてください。</p>
デザイン 工学科	2年生	<p>私はデザイン工学部のロボティクス・情報デザイン系です。高校生の時にArduinoを少し使ったことがあるのですが、その時はなんとなくの浅い理解で使っていたため、大学でプログラミングや回路の知識を学んだ今、改めて使ってみて、理解を深めたいと思い参加しました。</p> <p>先生の説明は大変わかりやすく、それに加えてプログラミングは最初、感覚的にプログラムできるスクラッチで行えるので、初心者の方でも大変楽しく作業を進められると思います。実際私もほぼ躓くことなく作業を進められました。そのため、このプログラムが終わっても、Arduinoでもっと色々なことがしてみたいと興味が湧きました。</p> <p>また、私は英語が得意ではなく、初日は結構意思疎通が上手くいかないことがありましたが、挫けずに意見を出し続けました。緊張して文法通りに上手く言葉を紡げなくても、図や絵を駆使して乗り切りました。そして段々と緊張もほぐれ、チームでの意思疎通が大変スムーズになり、また、英語に段々と耳が慣れてきたように感じました。私のチームメンバーは、私の拙い英語を一生懸命きいてくれましたし、私が理解できない場合はマイクを近づけてゆっくりと話してくれました。</p> <p>初日は全然意思疎通ができなかったため、大変悔しい思いをしたのですが、チームメンバーの協力のおかげで、失敗を恐れることなくどんどん英語で意見を言えるようになりました。更に、私は主にプログラムを担当したのですが、シミュレーションが上手くいく度に「すごいすごい」となんと日本語で褒めてくれました。</p> <p>このあたたかい経験は、今後英語で意思疎通をする場合に、きっと私の背中を押してくれると思います。参加して本当に良かったと心から思います。</p>

# 参加学生体験談

機械機能 工学科	1年生	<p>時間のある春休みの間に英語力を鍛えたいと思い、このgPBLに参加しました。私はそこまで英語が得意なわけではなく、また短い時間で英文を考えるのは特に苦手だったため、はじめは参加を躊躇していました。ところがこのプログラムでは、先生やチームメイトは返答に多少時間がかかっても待ってくださりましたし、こちらが聞き取れなかった英文についてはチームメイトが文字起こししてくれるなど、様々な配慮をしていただきました。参加して本当に良かったです。</p> <p>このプログラムでは、メカトロニクスの知識や英会話の技能だけでなく、プロジェクトの進め方やチームワークの大切さといったことも学びました。他ではなかなか経験出来ないことも沢山ありますし、ここで学んだことはこれからの授業や大学生活などにきっと生かせるとでしょう。</p> <p>5日間はかなり忙しくなりますが、何か得意でないことにチャレンジしてみるにはちょうどよい長さだと思います。今後も積極的にこのようなイベントへ参加してみたいです。</p>
デザイン 工学科	2年生	<p>私は機械機能工学科ではなくデザイン工学科に所属していますが、ロボットに関する知識や経験があまりなくても問題なくこのプロジェクトを進めることができたので学部が違うからといって楽しめないということは無いと思います。</p>
デザイン 工学科	1年生	<p>Arduinoを利用したプログラムであることや、英語でコミュニケーションをとることなどへの興味からプログラムに参加した。私にとっては初めてのArduinoへの挑戦であったが、特別難しい作業を要することなく、初心者にも参加しやすいプログラムであったと感じた。</p> <p>また芝浦の学生を含めて全員が初対面であったチームメンバーはとても気さくで、楽しみながらコミュニケーションをとることができた。なれない英語での会話は、うまく聞き取れなかったり伝えられなかったことも多々あったが、理解できるまで訊き返したり表現を変えたりすることが重要だと今回のプログラムを通して学んだ。</p> <p>プログラム全体を通して、英語でのコミュニケーションという面でも、電子回路を学ぶという面でも、一歩踏み出す機会に非常に適したものであったと思う。</p>